

## 東北農林専門職大学（仮称）の開学に向けた準備状況について

### 1 大学設置認可申請

令和6年4月開学に向け、本年10月に文部科学省に大学設置認可申請を行う必要があります。専門職大学基本計画検討委員会（以下「検討委員会」という。）において、申請書に記載する必要がある設置の趣旨・意義、学部・学科構成やカリキュラム編成などの事項を定める基本計画を検討している。

令和4年5月25日に第5回検討委員会を開催し、基本計画最終報告骨子案について検討した。

### 2 教員の確保

専任教員の公募などを行い、農業経営学科の専任教員候補者19名、森林業経営学科の専任教員候補者9名を内定している。

#### 【参考】専任教員の全体像

	学部長・学科長	研究者教員	実務家教員	教員数計	予備枠
農業経営学科	1	8 ( 8)	10	19 ( 8)	1
森林業経営学科	1	4 ( 4)	4 ( 1)	9 ( 5)	1
合 計	2	12 (12)	14 ( 1)	28 (13)	2

※ 学長を除く。括弧内が外部から招聘する専任教員の人数。

### 3 臨地実務実習先の確保

臨地実務実習は、農業経営体や森林組合等の事業体の実務に従事する実習で、専門職大学のカリキュラムの肝となるもの。本専門職大学では、2～4年次に30日ずつの実習を予定しており、東北全体で計372か所の実習先候補を確保している。

#### 【臨地実務実習先候補】

	農業経営体	森林業事業体	計
山形県内	285	50	335
山形県外※	34	3	37
計	319	53	372

※山形を除く東北各県。

### 4 キャンパス整備

#### ア 校舎本体

令和4年7月4日着工予定（令和5年12月完了予定）

#### イ 附属施設（学内実習等の際に活用する教育研究施設）

果樹の附属施設は、現在設計を行っており、今年度中に現施設を増築する。

稲作、畜産、森林の附属施設（木造）は、令和5年度の建設に向けて、設計の準備を進めている。附属施設には、いずれもバイオマスボイラーを設置予定。

## 5 学生の修学や就農・就業、学生生活等に対する支援

- ア 検討委員会に設置した就農等支援PTの報告を踏まえ、実践的なキャリアサポートセンターの設置等の修学・就農等支援策を検討している。
- イ 検討委員会に設置した最上地域連携PTが中心となって、学生・教員の住居など、生活環境の整備や専門職大学と連携した地域振興策を検討している。

## 6 その他（気運醸成等）

- ・最上管内市町村長との意見交換（6月21日）
- ・山形経済同友会例会（7月）
- ・新庄市議会研修会（7月）
- ・最上県勢懇話会（7月）

### （参考）今後のスケジュール

- 令和4年9月 第6回専門職大学基本計画検討委員会（最終報告案の審議）
- 令和4年10月 大学設置認可申請
- 令和6年4月 開学（目標）

## 1 設置の趣旨及び必要性

農業・森林業を取りまく情勢変化

将来展望	グローバルな経済連携の進展等	消費者・国民ニーズの多様化等	環境共生型農林業等の推進
------	----------------	----------------	--------------

設置意義 **新たな経営戦略を構築・実践・検証の上、更なる展開へつなげ、国際的にも比肩することができる農林業経営者の育成**

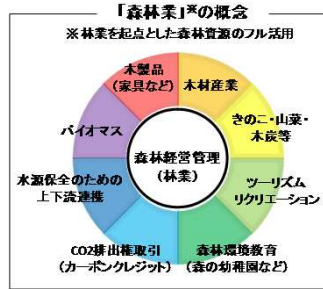
現場の先進的な経営や高度な技術を生きた教材とし、経営感覚と現場感覚に優れ、理論に裏打ちされた実践力を備えた農林業人材を育成

グローバルな視点で物事をとらえ、戦略的な経営に取り組める農林業人材を育成。既成概念にとらわれない研究に取り組み、農林業現場の技術開発を先導

農林業を核とした関連産業の振興や価値の創出に資する人材育成及び研究開発を担い、「東北創生」の拠点となる

## 2 学部・学科等の特色

- 学部  
農業・森林業各分野の職業専門性を高める教育と、展開科目等を通じた学科横断による学生同士の学び合いの両立
- 学科  
【農業】単作・複合双方の経営形態への対応はもとより、農産加工・販売をはじめとする農業経営の多角化にも対応した教育研究  
【森林業】林業を中心とし、バイオマス利活用、木材産業、きのこの非木材森林産品、森林サービス産業等について幅広く対応した教育研究



## 3 大学・学部・学科等の名称及び学位の専攻分野の名称

- 大学：東北農林専門職大学（仮称）
- 学部：農林業経営学部（仮称）  
学科：農業経営学科（仮称） / 森林業経営学科（仮称）
- 学位：農業学士（専門職）（仮称） / 森林業学士（専門職）（仮称）

## 4 教育課程等の編成の考え方及び特色

「教育課程の編成及び実施の方針」を踏まえ、専門職大学設置基準に定められた分野ごとにカリキュラムを編成。

### (1) 単位数

学科	基礎科目	職業専門科目	展開科目	総合科目	合計
農業経営学科	20単位	84単位 講義・演習 41単位 実習 43単位(うち学外実習 25単位)	20単位	4単位	128単位
森林業経営学科	20単位	86単位 講義・演習 43単位 実習 43単位(うち学外実習 25単位)	20単位	4単位	130単位

### (2) カリキュラムの特徴

講義だけでなく、学内外で行われる豊富な実習が特徴となっており、理論と実践をバランス良く学ぶことができる。内容は、農林業の生産や経営等に係る理論、実践を通じた技術、経営発展に資する分野（加工・販売、地域課題解決に係る演習）、新たな経営展開に資する関連分野（発酵・醸造、建築、観光等）など。

### (3) 教育課程の開発及び不断の見直しを行う仕組み

農林業界及び東北地域社会の関係者との連携の下、「教育課程連携協議会」を設置し、関係各界ニーズを踏まえた教育課程の不断の改善が担保される仕組みを整備。

## 5 教員組織等の編成の考え方及び特色

農業経営学科は稲作、果樹、野菜・花き及び畜産、森林業経営学科は森林経営管理及び森林資源利活用の各分野に、研究者教員と実務家教員とを各1名以上配置し、理論と実践とを架橋した教育研究ができる体制となるよう配慮。

	入学定員	収容定員	専任教員			教員数計	
			学部長・学科長	研究者教員	実務家教員		予備枠
農業経営学科	32	128+4	1	8	10	1	20
森林業経営学科	8	32+4	1	4	4	1	10
合計	40	160+8	2	12	14	2	30

## 6 入学者選抜の概要

「学生受入れの方針」を踏まえ、以下の入試内容を適切に組み合わせて実施。また、科目等履修生及び聴講生も受入れ。

区分	一般選抜	総合型選抜	指定校推薦型選抜	特別選抜(社会人、私費外国人留学生)
対象	県内外を問わず、専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持つ高校生等	県内外を問わず、専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持ち、将来的に地域の農林業を牽引する高い意欲を持つ高校生等(いわゆる「AO入試」)	専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持ち、将来的に地域の農林業を牽引する高い意欲を持ち、他の模範となる県内高校生	県内外を問わず、専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持つ私費外国人留学生やリカレント教育を希望する社会人
選考方法	大学入学共通テスト(英、数I・A、理科から1科目、地理歴史及び公民から1科目の4科目)、面接、小論文	書類、面接、小論文	書類、訪問面接	書類、面接
人数	農業経営学科10名 森林業経営学科2名	農業経営学科10名 森林業経営学科2名 東北6県の高校出身者向けの優先枠を設けることを検討	農業経営学科12名 森林業経営学科4名 県内高校から推薦	農業経営学科 若干名 森林業経営学科 若干名 総合型選抜の内数

## 7 実習の具体的な計画

### (1) 概要

- 1年次：基礎的な生産管理の技術を修得する学内実習、経営実態の理解を深める実地体験実習等を実施。
- 2年次：学生が将来経営の軸にしたい分野における発展的な生産管理の技術を修得する学内実習、実地での生産管理に関する知識や技術を実践する臨地実務実習を実施。
- 3年次：経営の多角化に資する技術を修得する学内実習、経営管理や経営の多角化に関する知識や技術を実践する臨地実務実習を実施。
- 4年次：生産管理及び経営管理に関する知識、技術及びそれまでの実務経験を総合化する臨地実務実習を実施。

### (2) 臨地実務実習

- ・実習の時期は、山形の特徴的な農産物の栽培歴や森林施業が実施可能な適期を考慮した「臨地実務実習ウィーク」に実施。
- ・学生は実習先と調整のうえ、各学期の「臨地実務実習ウィーク」（計30日間）の中から、任意の計15日間を選択し、集中的に実施。

臨地実務実習ウィークの実施時期	前期(授業期間:4月~7月)	4月中下旬、5月中下旬、6月下旬~7月上旬
	後期(授業期間:9月~12月)	9月中下旬、10月中下旬、12月上旬

【臨地実務実習先候補者（令和4年4月末現在）】

	農業経営体	森林業事業体	計
山形県内	285	50	335
山形県外※	34	3	37
計	319	53	372

※ 山形を除く東北各県。候補者は現在調整中